

梶浦奈緒子

文学作品から着想した絵画作品展を行います。(橋本図書館)

第3期『宮澤賢治 作品と色』

宮澤賢治の作品には、鉱物などの地質学関係のことばが数多く登場します。鉱物や鉱石は日本画材料の岩絵の具の原料でもあり、和の色や季節、心情なども表現することが出来る地球からの美しい贈りものです。

この度は、賢治の作品中の色彩表現や地質学関係のことばを目印しに着想した絵画作品の展示を行います。



「われひとり ねむられずねむられず まよなかに
窓にかゝるは ^{あか}緒こげの月」 歌稿 B 大正三年四月 89

『枝折り』

木の枝を折って道標べにする。本の葉も目印しのひとつ。

画材：岩絵具、膠、柿渋、雲肌麻紙

サイズ：652 × 1000 mm 制作年：2016年



「深い鋼青から柔らかな桔梗、それからうるはしい天の瑠璃、
それからけむりに目を瞑るとな、やはりはがねの空が目の前
一面にこめてその中にるりいろのくの字が沢山沢山光ってう
ごいてゐるよ。くの字が光ってうご…」 短編 柳沢

『星間雲』

微細な粒子の振動。不規則な分布。星のはじまり。

画材：岩絵具、鉄粉、膠、雲肌麻紙

サイズ：各 158 × 227 mm 制作年：2018年

橋本図書館をご利用の際は、入口横のギャラリー展示スペースをどうぞご覧ください。

カウンター上では、画材紹介展示（箔・岩絵の具・鉱石）も行っています。

展示期間：9月14日（金）～12月28日（金）午後5時まで

開館時間：午前9時30分～午後8時（土・日曜日、祝日等は午後6時まで）

休館日：月曜日（9/17、24、10/8、12/24を除く）9/18、25、10/9、11、11/8、12/13、25

梶浦奈緒子 プロフィール

1986 兵庫県生まれ

2009 女子美術大学芸術学部絵画学科日本画専攻卒業

2011 女子美術大学大学院美術研究科修士課程美術専攻日本画研究領域修了

2016 女子美術大学日本画研究室専任助手

現在 相模原市あじさい大学講師等